

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年5月26日(木) 9:30~12:30
- 3 開催場所 岐阜県立中濃特別支援学校 特別棟2階会議室
- 4 参加者

会長	沼田 明仁	くらしふれあいまちづくり協議会会長
副会長	伊藤 園美	岐阜県立ひまわりの丘第一学園園長
委員	朝倉 勝美	せき防災の会代表
	梅田 美保	美濃市ひばり園サービス管理責任者
	大谷 弘	各務原市手をつなぐ育成会理事長
	春見 隆	向山町自治会会長
	佐藤 由紀子	株式会社e-パックサービス管理責任者
	西田 尚子	岐阜県立中濃特別支援学校同窓会後援会会長
	村田 泰弘	中部学院大学短期大学部幼児教育学科准教授
	森 真悟	岐阜県立中濃特別支援学校PTA会長

学校側	澤田 秀俊	校長
	村山 朋子	事務部長
	杉本 雅晴	教頭
	平野 直子	教頭(欠席)
	三尾 葉子	小学部主事
	古田 洋子	中学部主事(欠席)
	三宅 千絵	高等部主事
	浅野 泉	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

昨年度の学校運営協議会における指摘事項を踏まえ、学校及び各部・各分掌部における本年度の方針と重点並びに重点的取組についての説明後、校内での授業参観を行い、学校及び各部・各分掌部に関する事柄並びに高等部作業製品の販売価格について協議を行う。

(1) 学校及び各部・各分掌部における本年度の方針と重点並びに重点的取組について

意見1: 「目指す学校像」の「各家庭に応じた丁寧な情報発信の構築」に関して、児童生徒の家庭状況に合ったかたちでの情報発信が大切である。受け手によって得られる情報が異ならないよう、家庭状況に応じた個別の支援をより一層大切にしてほしい。

意見2: 高等部における「作業製品の販売機会の確保」に関して、地域のイベントにおける販売は可能か。地域住民が学校を身近に感じられる理解啓発の機会としたい。

⇒新型コロナウイルス感染症対策における県の方針に基づき、現在は販売会の持ち方を変えているが、今後は実施可能な販売会の在り方について検討をして提案した

い。

意見3：生活支援部における「スクールカウンセラーの活用」に関して、カウンセリングのメリットや申込方法等について、より具体的に活用しやすいように保護者へのより一層の周知徹底を図ってほしい。

意見4：進路支援部における「将来の就労を見据えた進路学習」に関して、我が子は高等部での就業体験・職場実習を契機に、一人で路線バスが利用できるようになった。卒業後の生活を見据え、自立につながる経験とその機会確保を、今後も学校は大切にしてほしい。

意見5：健康支援部における「小学部から高等部までの系統性のある性教育の実践」に関して、思春期の児童生徒が多くいる関係機関において、性教育は課題となっている。学校と情報を共有し、よりよい支援の在り方の連携を図っていききたい。

(2) 授業参観における各部の教育活動について

意見1：就労移行支援A型事業所における利用者の中には、掃除道具の扱いが難しい方、自宅の掃除が不十分な方もいる。掃除における基礎的な力を身に付けることは大切なことであり、今後も継続して取り組んでほしい。

意見2：手順表や教材、手話を用いた教員の言葉掛け等、視覚的な支援が充実していた。

意見3：一人一人に合った教材の準備は大変だが、教材の共有はしているのか。

⇒創作教材をデータで保存し、教材の共有化や効果的な支援方法の共有化に取り組んでいる。

(3) 高等部作業製品の販売価格について

意見1：紙工班の「うちわ」は、単色和紙で作製されており価格に比べて安く見える。デザインされた和紙を使用する等の工夫をしてはどうか。

⇒デザインを再考し、付加価値を高めるよう検討する。

意見2：価格の根拠が明確であり、妥当な価格設定である。

6 会議のまとめ

本年度の学校・各部・各分掌部における運営方針等に対して全委員より承認が得られた。昨年度の協議会における指摘事項を踏まえつつ、各委員より具体的で的確な提言が得られ、今後の学校運営に極めて有益な会となった。